



よしだ しん 議員
吉田 伸

主要道路の交差点対策は

計画的に整備を進めていく。

道の駅建設について町長の方針は

住み良い町づくりを進めては

主要道路の交差点対策は

吉田 今後の町発展の為に安全対策を考えるならば交差点の拡幅工事を進めておくことが大切と考えるが町の対応を伺う。また、矢吹町には、数多くの県道、国道が走る。合わせて町道の合流する交差点の拡幅工事の考えも大切と考えるが町長の方針を伺う。

町長 旧石川街道の拡幅事業は、本年度より事業に着手し、計画的に整備を進めてまいります。事業計画は、道路沿線の住民や地権者を対象とした事業説明会を行い、事業同意を得た後に路線測量に着手し、現地調査、道路の概略設計を進

め、測量設計の成果をもとに、交付金事業の要望申請を行い、平成29年度から補助事業の採択を受け、実施設計、用地買収、物件補償等、本格的に事業の推進を図ります。
また、国道4号を含め、あぶくま高原道路、主要地方道を含め、多くの国道・県道が配置されており、震災以降、社会情勢の変化及び復興関連事業の推進により、町内を走る国・県道の通行量は増加傾向にあります。国道、県道の整備促進については、広域を含む地域間の連携や、歩行者の安全確保、地域経済活性化を図る上でも必要不可欠と認識しております。



道の駅安達 (二本松市)

吉田 調査的段階と思量するが町長の方針を伺う。全国に道の駅は「1076」建設されている。数多く有る道の駅で矢吹町の特徴はどの様に作るのか伺う。

町長 道の駅整備事業は、3月に開催した(仮称)道の駅やぶき検討委員会において、先進事例を踏まえた具体的な検討が行われた。道の駅整備の目

的ですが、幹線道路に道の駅を整備することにより、町の強みである交通の優位性を生かし、町の魅力を高め、多様な農業経営を支援し、若者の定住促進、雇用の場の確保、観光地等の情報発信、町内外の人たちとの交流の場づくりを行うものであります。
また、整備に際しては、町負担を極力抑えるため、道路管理者と市町村が共同で整備を行う二体整備で協議を進めており、この場合、道路管理者である国では、休憩施設、トイレ、情報提供施設、一部駐車場を整備し、町では、直売所やレストラン等の地域振興施設及び残りの駐車場を整備いたします。

吉田 現在各地域で環境美化運動が進められている。この運動を進めて矢吹町が一番住み良い町と言われる町の美化運動を子供から大人まで全町民を上げて進めてはと提案する。矢吹中建設で県下一の表彰を受けている。アイデアは皆で思案して町づくりを進めては。

町長 住みよいまちづくりに関しては、生活環境及び景観の保全を図り、町民挙げての美化運動は必要であり、毎年、ごみゼロのまちを目指した全町クリーン作戦による環境保全活動を行っております。また、昨年度は、大池公園において区長会、町民活動団体、議員の皆様

のご協力により植樹を実施し、景観保全活動が行われました。今後も全町民が一丸となって協働のまちづくりを推進してまいります。
教育長 各小・中学校では、町のイベントの手伝い、福祉施設への慰問などの奉仕作業に取り組んでおります。

また、地域での花いっぱい運動には、育成会も参加して子供たちも環境美化に取り組んでおります。
今後も児童・生徒が積極的に参加できるよう、町部局と連携しながら奉仕作業の支援体制づくりを進めてまいります。

町政を問う (一般質問)